

令和 7 年度事業計画

日本サニテーションコンソーシアム（JSC）は、アジア太平洋水フォーラム（APWF）のサニテーションに関するナレッジハブ活動を通じて、アジア・太平洋地域の衛生状況の改善に貢献するため、令和 7 年度（2025 年度）において、以下のような事業を実施する計画である。

1. ネットワーキング Networking

（国際機関と連携し、各国の衛生関係機関とのネットワークを構築する）

ナレッジハブの活用を促進するために、アジア・太平洋地域のサニテーションに関係する機関、団体等を見出し、ネットワークの拡大を図るため、各種会議、ワークショップ等に参加する。この一環として国土交通省の受託案件「令和 7 年度下水道分野における国際会議等運營業務」（エム・アール・アイリサーチアソシエイツ㈱との JV 受注）の中で以下のような調査及び行事等の企画・支援を予定している。

- ① 国内外で実施する国際会議、政府間会議等の開催・運営支援
- ② 下水道事業の理解促進等の対応方策等についての検討

2. 情報収集 Information gathering

（アジア・太平洋地域の衛生に関する情報データベースを構築し、各国の衛生改善に関する調査を実施する）

2-1 アジア開発銀行水と都市フォーラム（ADB Water and Urban Forum 2025）への参加

Participation of ADB Water and Urban Forum 2025

アジア開発銀行(ADB)主催の会合が、フィリピン共和国マニラ市の ADB 本部にて 2025 年 5 月 26 日～30 日にかけて開催される。これまで途上国における水・衛生に関する活動を支援してきたゲイツ財団（BMGF）が事業活動を大幅に縮小することを受けて、その事業の継承が期待されている機関として ADB が関連情報を把握・整理を行うものと想定される。JSC はこれまでの活動から得た情報と今後の対応について説明するとともに、アジア太平洋地域における水及び環境衛生・汚水管理の諸問題についての動向を把握するため、担当職員を現地に派遣するとともに構成団体からも数名が出席する。

2-2 APWF (Asia-Pacific Water Forum Governing Council Meeting)

執行審議会への参加

Participation of Asia-Pacific Water Forum Governing Council Meeting

第 33 回アジア太平洋水フォーラムの執行審議会（7 月頃又は 2 月開催を想定）に参加し、サウジアラビア・リヤド（2027 年 3 月頃予定）で開催される第 11 回世界水フォーラムや今後開催が想定されている第 5 回アジア太平洋水サミットに関し準備会合に参加するなどし、その動向を把握する。

3. 知識の普及と情報共有 Dissemination of knowledge and information sharing

（衛生に関する日本等の先進国の知識と経験の普及、途上国の情報と知識の共有のための国際セミナーを開催する）

3-1 アジア汚水管理パートナーシップ (AWaP)の支援

Support to Asia Wastewater Management Partnership (AWaP)

AWaP 総会は 11 月頃にカンボジア・プノンペン市で開催される予定であり、事務局を担当する日本下水道事業団 (JS) の要請により、JSC は AWaP パートナー機関として総会の進行等に関し担当職員を派遣し支援を行う。

3-2 ストックホルム世界水週間への参加

Participation of Stockholm World Water Week

ストックホルム世界水週間（8 月 24 日～28 日）において、サウジアラビア・リヤドにて開催予定の第 11 回世界水フォーラムや衛生・汚水管理に関して各国関係者と情報交換を行い、最新情報を収集する。

3-3 第 13 回アジアにおける分散型汚水処理に関するワークショップ

13th Workshop on Decentralized Wastewater Treatment in Asia

前年度に引続き、アジアにおける分散型汚水処理システムの普及推進に向けて各国間の情報共有並びにネットワーク構築を図るため、2025 年に環境省が主催する「第 13 回アジアにおける分散型汚水処理に関するワークショップ」の開催を支援する。

今年度も、日本環境整備教育センターの会議室において、アジア 5 か国から発表者を招聘して開催する予定である。

4. 国際援助機関への支援 **Support to international aid organizations**

ADB・JICA 等国際援助機関に対し、衛生関係技術者の養成を実施するとともに、プロジェクトの調査や適正技術の選定に対する助言や専門家の紹介などを行う。

4－1 ビル&メリンダ・ゲイツ財団（BMGF）／アジア開発銀行研究所（ADBI）との連携強化

Bill & Melinda Gates Foundation (BMGF) / Asian Development Bank Institute (ADBI) Cooperation Strengthening

2023 年度 ADBI の依頼により、インド国テランガナ州の州都ハイデラバード市の下水道が整備されていない市外縁部の商業ビル等を対象として、日本の分散型污水管理制度を参考にした分散型污水管理の改善と再生水利用の促進に関して調査を行った。

この調査の報告については 2024 年から 2025 年にかけて順次取りまとめ ADBI から公表される。また、インド国から JICA に対して人材育成等の支援要請があった場合を想定し、具体的な支援について準備、対応を行う予定である。

5. その他の活動 **Other activities**

5－1 ISO/TC224/WG8、WG10 及び CG 活動への参加

Participation in activities of ISO/TC224/WG8, WG10 and CG

令和 7 年 6 月 23 日～27 日の週に ISO TC 224(飲料水、污水および雨水システムとサービス)総会・CG および WG (WG8、WG10) がカナダ・トロント市で開催される。JSC と構成団体 JECES からそれぞれ 1 名を派遣し ISO TC 224 の会議に参加し、ISO 規格の作成活動および ISO 関連情報の収集を行う。

5－2 JICA 課題別研修（下水道マネジメント／分散型污水处理システム導入・普及）の支援

Support to JICA Training Program (Sewerage Management/ Introduction and Spread of Decentralized Wastewater Treatment Systems)

JICA 課題別研修（下水道マネジメント）は、JICA 東京において令和 7 年 9 月 24 日～11 月 6 日来日研修として開催される。JSC から講義への講師派遣、教材の充実に向けた支援などを行う予定である。

また、昨年度に続き JICA 課題別研修（分散型污水处理システム導入・普及）が JICA 九州にて令和 7 年 7 月 12 日～8 月 8 日まで開催され、この研修に対して JSC から講師派遣等の支援を行う予定である。